

E137

エト5G-14



若狭萬次郎編著

新女子音樂教科書
教授用書



第三編

東京十三和
會社 共益 商社 書店 發行

33	谷間の流 (三部)	92	93
34	人魚の歌 (獨唱及び三部)	94	98
35	水 (三部)	99	103
36	少女のまとわり (同)	104	106
— 通 編 —					
37	春の朝 (齊唱又は二部)	108	107
38	わが太陽	110	167
39	森林逍遙 (二部)	112	113
40	聖代の頌	114	116
41	祖國の爲に	118	117
42	秋の歌	120	117
43	深山の花	122	123
44	凱旋行進曲	124	127
45	雲の彼方	128	129
46	兵士の合唱	130	136
47	古き歌	134	136
48	悲しき舞曲	138	137
49	歸郷 (齊唱又は二部)	140	137
50	楽しき五月 (同)	142	145
51	故郷の人々	146	149
52	ヴェニス舟唄	150	152
53	シューベルトの行進曲 (齊唱又は二部)	154	153
54	晩鐘 (同)	158	153
55	ウルタヴの流 (同)	160	162
外國語唱歌					
1	If a body find a lesson.	163	163
2	Old Black Joe. (齊唱又は二部)	164	164
3	Massa's in de cold, cold ground.	166	166
4	Home, sweet home. (齊唱又は二部)	168	168
5	Deutschland über Alles.	170	170
儀式唱歌					
1	聖壽無窮	172	171
2	萬歲	174	175
3	卒業式の歌	176	177
4	創立記念日	178	179
5	送別の歌	180	181
	(螢の光)	180	181



戀しき山河

— うららの日かげに花は咲けど

故郷思へば心わびし

父母同胞つつがはなきか

夢にも見ゆるよ郷の小山

名残を惜しみて別れし春は

再び此の身にめぐり来る

何れの時にか事成し遂げて

戀しき山河馴れにし山河

我は訪はん

犬童 球溪

— 二み空の月かげ清くすめど

故郷思へば眼曇る

おととい友がきつつがはなきか

夢にも浮ぶよ郷の小川

我が家を離れて幾年月を

すごしし此の身に秋は来る

何れの時にか學を終へて

馴れにし山河戀しき山河

我は訪はん

戀しき山河 (生徒用15頁)

Humphrey J. Stark.
編著者 編曲

Allegretto.

mf

一. ヲ ラ ラ ノー ヒ カ ゲ ニ ー ー ハ ナ ハ サ ケ ド ー フ
二. み そ ら の ー つ き か げ ー ー き よ く す め ど ー ふ

mf

ル サ トー オ モ ヘ バ ー ー コ コ ー ロ ヲ ビ シ チ
る さ とー お も へ ば ー ー ま な ー こ く も る お

チ ハ ハ ハ ラ カ ラ ツ ツ ガ ハ ナ キ カ ー ー ユ
と と い と も が き つ つ が は な き か ー ー の

(rit.) mp

ノ ニ モ ミ ユ ル ヨ サ ト ノ コ ヤ マ ー ー ナ
め に も う か ぶ よ さ と の を が は ー ー わ

a tempo

ゴ リ フ ナ シ ミ ナ ツ カ レ シ ハ ル ハ フ タ ー タ ビ コ
が や を は な れ て い く と し つ き を す ご し し こ

mp

ノ ニ モ ミ グ リ ヤ タ ル ー ー ツ レ ノ ト キ ー カ コ ト ナ シ ト
の ー み に あ き は さ た る ー ー い つ れ の と き に か ま な び を か

f p f p f rit.

ケ ナ コ ヒ シ ヤ ー カ ハ ナ レ ニ シ ヤ マ カ ハ ソ レ ハ ト ハ
へ て な れ に し や ま が は こ ひ し き や ま が は わ れ は と は

a tempo p (rit.)

ん

工ト59-44/4

E13720455

昭和十三年八月十一日印刷
昭和十三年八月十四日發行

新女子音樂教科書教授用書
(非賣品)

不許
複製
轉載

編著者 若 狹 萬 次 郎

發行兼印刷者 東京市芝區松本町四拾四番地
共益商社書店

代表者 白 井 保 男
印刷所 共益商社書店印刷部

發行所

東京市芝區松本町四拾四番地
共益商社書店

電話三田 (45) 一五八〇番
一四〇〇番
一四五六番
一四七七番